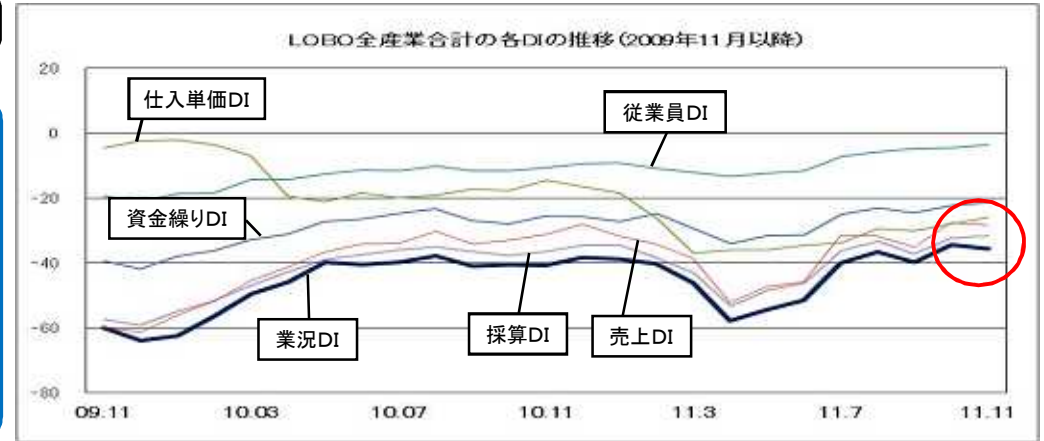


業況DIは、超円高やタイ洪水が影響し、回復の勢いが弱まる

ポイント

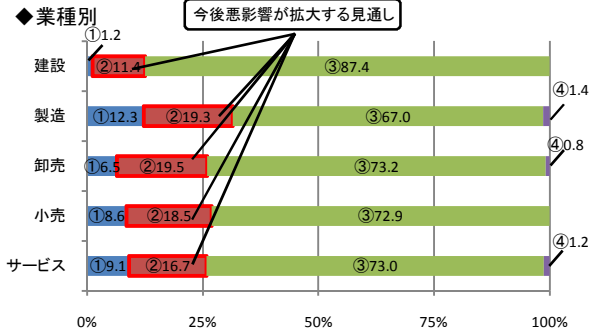
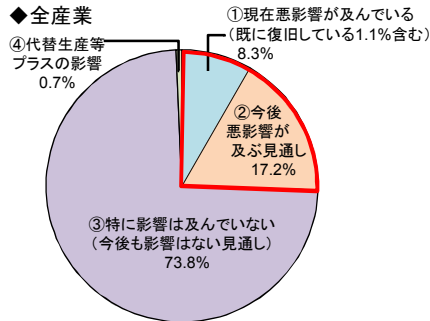
- ▶ 11月の全産業合計の業況DIは、▲35.5(前月比▲1.2ポイント)と、2カ月ぶりにマイナス幅が拡大。復旧・復興需要が続く一方で、**超円高やタイ洪水**などにより、**製造業を中心に経営環境が悪化**。先月まで続いていた回復の勢いが弱まりつつある
- ▶ 先行きについては、先行き見通しDIが▲31.5と、今月から+4.0ポイント改善する見通し。**年末・年始における消費・宿泊需要の高まりへの期待感**が出ている。**第三次補正予算の執行に伴う復興需要の本格化も好材料であるが、建設業では、人手不足による賃金の上昇に伴う、採算悪化への不安もみられる**。また、**超円高に伴う輸出の減少や取引先による生産・販売拠点の海外移転の加速に加え、幅広い業種においてタイ洪水による今後の影響を懸念する声も多い**



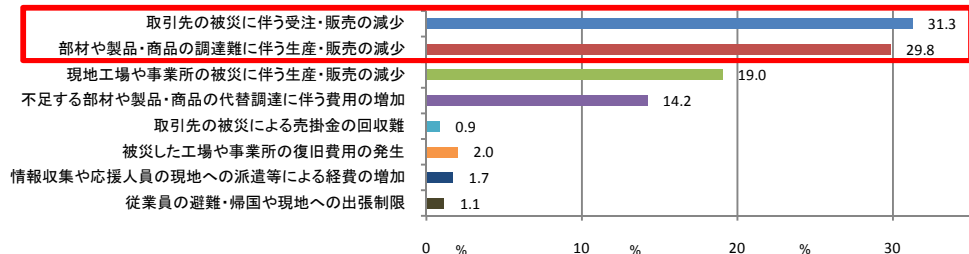
タイ洪水による影響

- ▶ 「**現在までに悪影響が及んでる**」、または、「**今後悪影響が及ぶ見通し**」の企業(全産業)は**25.5%**(①+②)に達する。悪影響は製造業に限らず**全業種**に及んでいる
- ▶ 悪影響の内容は「**取引先の被災に伴う受注・販売の減少**」が**31.3%**と最も高く、次いで「**部材や製品・商品の調達難に伴う生産・販売の減少**」が**29.8%**

<経営への影響>【単一回答】



<悪影響の内容> ※①、②を回答した企業のみ



[中小企業の声]

- ▶ 除雪機の部品を製造している工場が被災し、生産が止まっている影響で製品の仕入れができない (帯広 輸送用機器部品等卸売業)
- ▶ 水産養殖施設が流失しており、輸入量が減少。調達困難な上、価格が高騰 (函館 水産食料品製造業)
- ▶ 一部の電化製品の入荷が遅れが生じている (長野 百貨店)
- ▶ 音響・映像機器工場の被災により入荷が滞る見込み (東京 映像制作業)
- ▶ 工場設備の水没等の被害により、工作機械メーカーの受注が増加する見込み。製品(工作機械・産業機械等)運搬の需要増を期待 (東京 運送業)
- ▶ 仕入先にタイからの部品が入ってこないため、今後、自社への納品の遅れが予想される (青梅 小型モーター・センサ等製造業)
- ▶ 鶏肉の輸入に影響が出ており、仕入れ値が上昇傾向にある (海老名 精肉店)
- ▶ オートバイの部品調達が出来ず、11、12月の生産計画の調整を行わなければならない (掛川 自動二輪部品製造業)
- ▶ 親会社のタイでの生産がストップしてしまい、部品の納品ができない状況が続いている (名古屋 自動車部品製造業)
- ▶ 日本の時計メーカーの商品を入荷できない (岡崎 貴金属販売業)
- ▶ ハードディスク駆動装置(HDD)の部品生産が止まっている影響で、PC、サーバー、プリンタ等の機器の仕入れ、販売ができない (京都 情報機器販売・システム開発業)